

令和 2 年度

財政援助団体等監査報告書

富津市監査委員

目 次

第1 監査の概要

1 監査の種類	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 監査の対象	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3 監査の範囲	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
4 監査の方法	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
5 監査の期間	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
6 監査の場所	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
7 監査執行者	・・・・・・・・・・・・・・・・	2

第2 監査の結果

社会福祉法人 富津市社会福祉協議会	・・・・・・・・	3
一般社団法人 富津市シルバー人材センター	・・・・・・・・	8

第1 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査

2 監査の対象

(1) 社会福祉法人 富津市社会福祉協議会

〔所管部局等〕 健康福祉部 社会福祉課・子育て支援課・介護福祉課

〔団体種別〕 補助金交付団体

(2) 一般社団法人 富津市シルバー人材センター

〔所管部局等〕 健康福祉部 介護福祉課

〔団体種別〕 補助金交付団体

3 監査の範囲

令和元年度及び令和2年度8月末現在までの補助金等に係る出納、その他の事務の執行

4 監査の方法

本市からの補助金等の出納、その他の事務がその目的に沿って適正かつ効率的に行われているかを主眼として、富津市監査基準に準拠し、団体の種別により以下の観点に基づくほか、提出された監査資料及び関係諸帳簿の調査、確認をするとともに、関係職員から説明を聴取し、実施した。

(1) 補助金交付団体

ア 補助金等に係る申請手続きは、適正に行われているか。

イ 補助金等に係る事業は、目的に沿って計画的に執行され、効果を上げているか。

ウ 補助金等に係る会計経理及び財産の管理は、適正に行われているか。

エ 補助金等の精算は、適正に行われているか。

(2) 所管部局等

ア 補助金等の決定は、関係法令等に適合しているか。

イ 補助金等の額の算定、交付方法・時期・手続等は、適正に行われているか。

ウ 補助金等の効果及び履行の確認は、実績報告書により行われているか。

エ 補助金等交付団体への指導監督は、適切に行われているか。

5 監査の期間

令和2年9月13日から令和2年11月24日まで（事前監査等の期間を含む。）

6 監査の場所

富津市役所本庁舎5階503会議室

7 監査執行者

富津市監査委員 磯 貝 昭 一

富津市監査委員 福 原 敏 夫

第2 監査の結果

社会福祉法人 富津市社会福祉協議会

1 事務事業の概要

社会福祉法人富津市社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定され、地域住民の参加を促し、行政機関、福祉関係団体等と連携を深め、富津市における社会福祉事業及び地域の社会福祉に関する活動を活性化させ、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体である。

2 事業

社会福祉事業（定款第2条抜粋）

- (1) 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- (2) 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- (3) 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- (4) (1)から(3)のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業
- (5) 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡
- (6) 共同募金事業への協力
- (7) ボランティア活動の振興
- (8) 在宅ケアサービス事業
- (9) 福祉サービス利用援助事業
- (10) 生活福祉資金貸付事業
- (11) 総合相談事業
- (12) 移動支援事業
- (13) 生活支援体制整備事業
- (14) その他この法人の目的達成のため必要な事業

公益事業（定款第 41 条抜粋）

- （１） 居宅介護支援事業
- （２） 介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業
- （３） 地域包括支援センター受託事業
- （４） 成年後見制度に関する事業
- （５） 生活困窮者自立相談支援受託事業
- （６） 被保護者就労支援受託事業
- （７） 富津市ファミリーサポートセンター受託事業

3 役員及び組織（令和２年８月 31 日現在）

- （１） 役 員 18 名
 - 会 長 1 名（理事長）
 - 副会長 3 名
 - 理 事 15 名（会長及び副会長を含む）
 - 監 事 3 名
- （２） 評議員 18 名
- （３） 事務局 14 名（常勤職員 8 名、臨時職員 6 名）

4 財政援助等の受入状況（令和元年度決算）

- （１） 富津市社会福祉協議会補助金 29,059,065 円
- （２） 地域包括支援センター受託金 23,726,852 円
- （３） 生活困窮者自立相談支援事業受託金 10,103,088 円
- （４） 富津市被保護者就労支援事業受託金 3,875,952 円
- （５） 富津市ファミリーサポートセンター事業受託金 2,762,836 円

5 収支決算の状況（令和元年度決算）

社会福祉法人富津市社会福祉協議会から提出された、令和元年度決算書について、その概要は次のとおりである。

令和元年度 本部拠点区分 資金収支計算書

(単位：円)

勘定科目			予算額	決算額	差異
事業活動による収支	収入	会費収入	7,778,000	7,982,070	△ 204,070
		寄附金収入	251,000	562,139	△ 311,139
		経常経費補助金収入	43,676,000	42,699,799	976,201
		受託金収入	3,062,000	3,061,100	900
		貸付事業収入	1,000,000	481,000	519,000
		事業収入	3,827,000	3,993,651	△ 166,651
		負担金収入	270,000	170,000	100,000
		受取利息配当金収入	10,000	17,289	△ 7,289
		その他の収入	3,153,000	3,464,319	△ 311,319
		事業活動収入計	63,027,000	62,431,367	595,633
	支出	人件費支出	46,913,000	45,926,118	986,882
		事業費支出	4,306,000	3,820,963	485,037
		事務費支出	6,861,000	5,745,035	1,115,965
		貸付事業支出	1,053,000	434,000	619,000
		共同募金配分金事業費	9,130,000	8,498,734	631,266
		助成金支出	4,583,000	4,568,000	15,000
		負担金支出	53,000	7,000	46,000
		その他の支出	70,000	69,090	910
		流動資産評価損等による資金減少額	0	27,600	△ 27,600
		事業活動支出計	72,969,000	69,096,540	3,872,460
	事業活動資金収支差額		△ 9,942,000	△ 6,665,173	△ 3,276,827
施設整備等	収入		0	0	0
		施設整備等収入計	0	0	0
	支出		0	0	0
		施設整備等支出計	0	0	0
	施設整備等資金収支差額		0	0	0
その他の活動	収入	事業区分間繰入金収入	5,630,000	4,392,480	1,237,520
		その他の活動による収入	8,871,000	8,870,860	140
		その他の活動収入計	14,501,000	13,263,340	1,237,660
	支出	積立資産支出	20,000	4,000	16,000
		事業区分間繰入金支出	3,700,000	2,700,000	1,000,000
		その他の活動による支出	3,200,000	3,136,060	63,940
		その他の活動支出計	6,920,000	5,840,060	1,079,940
	その他の活動資金収支差額		7,581,000	7,423,280	157,720
予備費支出		3,021,000	-	3,021,000	
当期資金収支差額合計		△ 5,382,000	758,107	△ 6,140,107	
前期末支払資金残高			19,507,000	19,510,979	△ 3,979
当期末支払資金残高			14,125,000	20,269,086	△ 6,144,086

本部拠点区分において、富津市から財政援助等を受けている額は、法人運営にかかる富津市社会福祉協議会補助金 2,905 万 9,065 円であり、これは事業活動収入総額の 46.5%を占めている。

事業活動による支出の主なものは、職員、非常勤職員等の人件費 4,592 万 6,118 円(事業活動支出総額の 66.5%)である。

令和元年度 公益事業拠点区分 資金収支計算書

(単位：円)

勘定科目			予算額	決算額	差異
事業活動による収支	収入	受託金収入	40,555,000	40,468,728	86,272
		事業収入	1,000,000	1,641,000	△ 641,000
		負担金収入	60,000	52,000	8,000
		介護保険事業収入	8,723,000	7,516,273	1,206,727
		その他の収入	11,000	0	11,000
		事業活動収入計	50,349,000	49,678,001	670,999
	支出	人件費支出	40,118,000	38,381,787	1,736,213
		事業費支出	2,119,000	1,580,452	538,548
		事務費支出	9,843,000	7,951,665	1,891,335
		負担金支出	50,000	3,000	47,000
		事業活動支出計	52,130,000	47,916,904	4,213,096
	事業活動資金収支差額		△ 1,781,000	1,761,097	△ 3,542,097
施設整備等	収入		0	0	0
		施設整備等収入計	0	0	0
	支出		0	0	0
		施設整備等支出計	0	0	0
	施設整備等資金収支差額		0	0	0
その他の活動	収入	事業区分間繰入金収入	3,700,000	2,700,000	1,000,000
		その他の活動収入計	3,700,000	2,700,000	1,000,000
	支出	事業区分間繰入金支出	5,630,000	4,392,480	1,237,520
		その他の活動支出計	5,630,000	4,392,480	1,237,520
	その他の活動資金収支差額		△ 1,930,000	△ 1,692,480	△ 237,520
予備費支出		2,757,000	-	2,757,000	
当期資金収支差額合計		△ 6,468,000	68,617	△ 6,536,617	
前期末支払資金残高			16,753,000	16,500,405	252,595
当期末支払資金残高			10,285,000	16,569,022	△ 6,284,022

公益事業拠点区分において、事業活動による収入の主なものは、富津市からの受託金収入で、地域包括支援センター受託金収入 2,372 万 6,852 円（事業活動収入総額の 47.8%）、生活困窮者自立相談支援事業及び被保護者就労支援事業受託金 1,397 万 9,040 円（事業活動収入総額の 28.1%）並びに富津市ファミリーサポートセンター事業受託金収入 276 万 2,836 円（事業活動収入総額の 5.6%）を合わせた 4,046 万 8,728 円であり、これは事業活動収入総額の 81.5%を占めている。

事業活動での支出の主なものは、職員、非常勤職員等の人件費 3,838 万 1,787 円（事業活動支出総額の 80.1%）である。

6 監査の結果について

出納及びその他の事務の処理状況については、おおむね適正に処理されていると認められたが、一部規程等の見直しが必要と見受けられるため、改正を検討されたい。

なお、今後の社会福祉法人富津市社会福祉協議会（以下「社協」という。）の更なる発展に資するため、次のとおり意見を付する。

社協は、障がい者団体や老人クラブ等の活動を支援するとともに、地域福祉活動に参加する市民への支援を行うなど、富津市の地域福祉の推進をけん引する法人として、その役割は大変重要である。

また、令和元年 9 月に発生した台風第 15 号等に伴う災害においては、初めて、富津市災害ボランティアセンターを設置し、全国から集まった多くのボランティアを受け入れ、被災者の復旧支援を行うなど、大きな役割を果たしたところである。

今後も、富津市との連携体制を強化し、事務マニュアルの作成等、被災者支援の充実を図られたい。

富津市民が、住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう、引き続き、社協が地域の中核となり、行政機関、福祉関係機関等との連携を図りながら、地域福祉の向上に努めていただくよう望むものである。

一般社団法人 富津市シルバー人材センター

1 事務事業の概要

一般社団法人富津市シルバー人材センターは、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づく団体であって、社会参加の意欲がある健康な高齢者に対し、地域社会と連携を保ちながら、その希望、知識及び経験に応じた就業の機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする団体である。

2 事業（定款第4条抜粋）

- (1) 高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供
- (2) 高年齢者の就業に関する調査研究
- (3) 高年齢者の就業に関する相談
- (4) 臨時的かつ短期的な就業(雇用によるものを除く)又はその他の軽易な業務に係る就業(雇用によるものを除く)を希望する高年齢者のための就業機会の確保及び組織的な提供及び職業紹介事業又は労働者派遣事業
- (5) 高年齢者に対する臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会などの実施
- (6) 公共施設の受付、清掃、管理等の受託
- (7) その他第3条の目的を達成するために必要な事業

3 役員及び組織（令和2年8月31日現在）

- (1) 役員 4名
 - 代表理事 1名
 - 理事 3名（代表理事を含む）
 - 監事 1名
- (2) 事務局 4名（常勤職員1名、臨時職員3名）

4 財政援助の受入状況（令和元年度決算）

富津市シルバー人材センター運営費補助金 3,000,000 円

5 収支決算の状況（令和元年度決算）

一般社団法人富津市シルバー人材センターから提出された、令和元年度決算書について、その概要は次のとおりである。

令和元年度 正味財産増減計算書

（単位：円）

勘定科目	予算額	決算額	差異
一般正味財産増減の部			
経常増減の部（当期経常増減額）	0	401,688	△ 401,688
経常収益	54,261,246	49,920,005	4,341,241
受託事業収益	47,800,000	43,452,044	4,347,956
労働者派遣事業受託収益	133,056	218,231	△ 85,175
受取会費	327,000	249,000	78,000
受取補助金	6,000,000	6,000,000	0
受取寄附金	1,000	0	1,000
雑収益	190	730	△ 540
経常費用	54,261,246	49,518,317	4,742,929
事業費	46,132,051	42,170,857	3,961,194
管理費	8,129,195	7,347,460	781,735
補助金返還支出	0	0	0
予備費	0	0	0
経常外収益の部（当期経常外増減額）	0	0	0
経常外収益	0	0	0
経常外費用	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0
特定資産取得支出	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	401,688	△ 401,688
一般正味財産期首残高	△ 1,319,379	△ 1,319,379	0
一般正味財産期末残高	△ 1,319,379	△ 917,691	△ 401,688

収益の主なものは、受託事業収益 4,345 万 2,044 円（経常収益の 87.0%）であり、事務費等にかかる運営費補助金として、国庫補助及び市補助を合わせた 600 万円は、経常収益の 12.0%である。

費用の主なものは、支払配分金、支払材料費、給料手当等の事業費 4,217 万 857 円（経常費用の 85.2%）であり、中でも支払配分金 3,632 万 6,223 円は、経常費用の 73.4%を占めるものである。

令和元年度 貸借対照表

(単位：円)

勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	5,356,162	流動負債	6,281,547
現金及び預金	3,014,732	短期借入金	1,450,000
前払費用	0	未払金	4,765,444
未収金	2,341,430	預り金	66,103
固定資産	7,694	固定負債	0
有形固定資産	7,694		
		負債合計	6,281,547
		(純資産の部)	
		一般正味財産	△ 917,691
資産合計	5,363,856	負債・純資産合計	5,363,856

資産のうち、流動資産は、現金及び預金 301 万 4,732 円及び未収金 234 万 1,430 円であり、固定資産は、有形固定資産 7,694 円は、車輛運搬具（軽自動車）である。

負債の主なものは、流動負債で、短期借入金 145 万円及び配分金等の未払金 476 万 5,444 円である。

6 事業の実績（令和元年度報告書抜粋）

（１） 会員数

令和元年度期首時点 87 名（男性 61 名、女性 26 名）

令和元年度期末時点 112 名（男性 71 名、女性 41 名）

（２） 会員延べ稼働日数 6,746 日

＊内訳 管理等 1,024 日

草刈り、植木剪定 1,439 日

草取り 335 日

その他 3,948 日

7 監査の結果について

出納の処理状況については、おおむね適正に処理されていると認められた。

しかしながら、各帳簿及び報告書等の一部に不備が見受けられたため、改善に努められたい。

なお、今後の一般社団法人富津市シルバー人材センター（以下「センター」という。）の更なる発展に資するため、次のとおり意見を付する。

全国的に高齢化が進む中で、富津市においては、平成 28 年にセンターが設立され、高齢者の生きがいつくり、社会参加の推進を担う拠点として活動するなど、富津市の地域社会づくりをけん引する法人として、その役割は大変重要である。

センターは、設立されてから 4 年目を迎えたが、未だ運営に苦慮している状況が続いているため、経営基盤の早期確立を望むものである。

引き続き、課題である新規会員の入会促進、就業機会の確保策に努められたい。

また、多様な地域ニーズに即した事業展開が行えるよう、富津市としても状況を十分に把握するとともに、積極的に援助されたい。